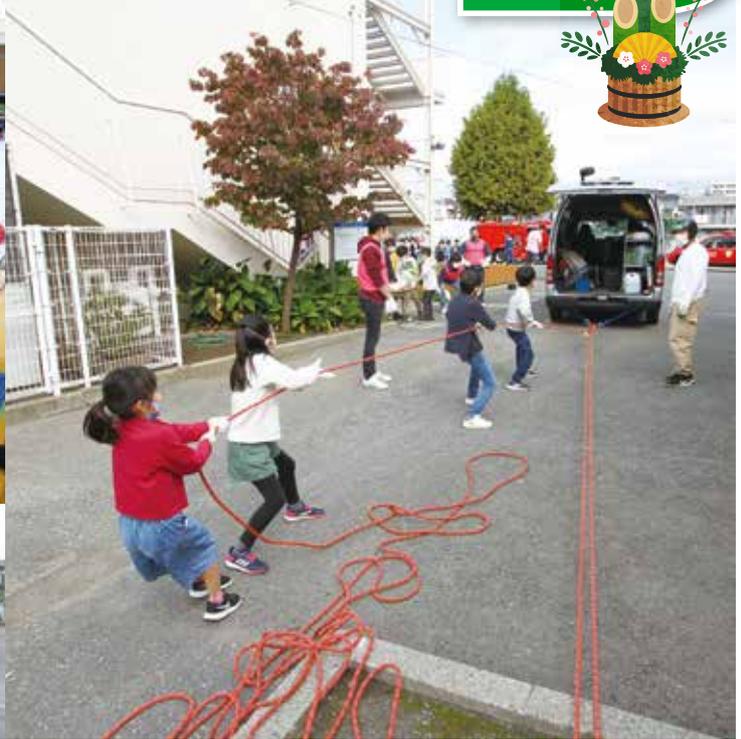


すぎもり 令和3年(2021年)1月 No14 地区協議会 だより



10/24防災訓練(杉森小3・4年生対象)の様子

学んで体験して備えよう 地域でつながり災害対策

今だからできる避難を考えよう

調布市立杉森小学校 校長 清水 吏



調布市では台風19号の被害が出て、初めて避難所が開設された1年前。災害から自分を守るための避難の重要性を実感する事件でした。この時には、新型コロナウイルス感染拡大の状況を誰が予測できたでしょうか。わずか1年で、密の回避、手洗いの励行、マスクの着用など新しい生活様式が当たり前になりました。本当に驚く限りです。

さて、これからは、感染症対策を講じながら、地震や水害、火災などの各種災害への対応が求められます。感染症への不安も大きいと思いますが、最優先されるべきは「目の前の命」を守ることです。準備を怠ったり、避難をためらったりしてはいけません。その点においても、すぎもり

地区協議会の皆様が10月に実施して下さった秋の防災訓練は意義のある活動であったと考えます。「例年どおり」とはいきませんでした、「今年だからできること」を精一杯行っていただき、自分たちのできる取り組みを考えることができました。訓練実施において感染症対策をしっかり立てていただいたことで、本校の3・4年生も安心して参加し、防災について学ぶことができました。ありがとうございました。

今後も、地域の皆様方と協力しながら、学校ができることについて考え、感染症に負けることなく、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。



ホームページアドレス <http://sugimori.net>

✉ chikukyo@sugimori.net

10/24

防災訓練

7つの体験をしよう!

AED 取扱い訓練



10月24日 杉森小学校3・4年生対象に、地域諸団体の方々に協力いただき、防災訓練を行いました。

《 子供たちの声 》



初めてで音にビックリした。人形の胸が固かったけど体重をかけて押したらうまく押せた。

煙体験



何も見えなくて怖かった。手探りでしゃがんで進んだ。

担架搬送訓練



人形 (35 kg) は思ったより重かった。途中でもう無理と思った。

119番通報訓練



ためになった。どう話せばいいかわかったのでできそう。

応急手当訓練



持ってきたバンダナを使って練習した。自分でできそう。説明がわかりやすかった。

重量物移動体験



大きな車だったけど、力を入れてなくても3人で引っぱれた。

初期消火訓練



楽しんで訓練できた。

《 担当者の声 》



調布消防署 国領出張所
所長 津田昌成さん (写真右)
(左は調布消防署 所長 多田静也さん)

「市内の他地域はまだ防災訓練を実施していない状況。いかに工夫して行うか、できることをできる範囲で行うのは大切。」



●重量物移動体験
NPO 法人災害救難活動 理事長
赤坂勝之さん

「滑車の原理を利用した綱引きで、スタティックロープ(伸びないロープ)を使用したアメリカのレスキューシステム。今回の重量物は車(約3トン)」



●重量物移動体験
学校開放利用団体 バスケットボールチーム
藤井聡さん (写真右)
(左は同チーム 菊地優大さん)

「軽い! 子供たちが軽々と楽しんでいた。滑車を使った訓練は初めて見た。」
★2019年11月発足、大学生・社会人対象、
第2・第4土曜12~14時活動



●初期消火訓練
調布市社会福祉協議会
地域支えあい推進員
北島正也さん

「子供たちは元気! 消火器の使い方を楽しんで学んでいるようだ。ソーシャルディスタンスをとりながら訓練を実施している。」



避難所開設訓練の報告

すぎもり地区協議会 元会長 **大野祐司**



令和元年台風19号における教訓から、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた訓練を実施することで、課題を把握するとともに、今後の避難所開設時に活用することを目的とし、令和2年7月に3回実施されました。

この訓練は、主に市職員向けのものです。調布市総合防災安全課と教育総務課主催で実施されましたが、すぎもり地区協議会でも中島会長以下3名で参加しました。

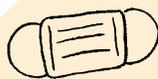
校門の開錠から始まり、避難者受付業務、防災倉庫の保管物資確認、感染症対策を講じた避難スペースの確保、ペット同行避難など多岐にわたり体験しました。

写真は、避難所(体育館)に段ボール仕切りと段ボールベッドで、感染症対応避難所の体験をおこないました。



想定外だった…と言わないために

備えよう 普段も役立つ「日常備蓄」
必須です 水・食料、薬、トイレ対策も



コロナ禍での避難



連載 防災コラム

備えあれば ④

1 地震か水害か、災害によって避難場所・避難所が異なります。

調布市の「防災マップ」と「洪水ハザードマップ」で確認し、災害時には調布市のホームページ・テレビ・ラジオ・地域のネットワーク等を利用して最新の正しい情報を入手して行動しましょう。

2 避難とは「難を避ける」こと、避難先は公的な避難所だけでなく、「分散避難」も考えましょう。

自宅が安全な場所にあり頑丈な建物（水害の場合は上階）なら、十分な備えをした上で「在宅避難」が選択できます。安全な場所にある親戚や知人宅やホテル等への「計画避難」という方法も必要ならば検討しましょう。やむを得ず一時的に車中泊をする場合は、浸水しないか等周囲の安全確認を行い、エコノミークラス症候群にも注意しましょう。また、避難する際には隣近所にその旨を伝えてから出かけることをお忘れなく。

3 豪雨・暴風になってから屋外を移動するのは危険です。

たとえ空振りとなっても早めの安全行動が大切です。特に高齢者・乳幼児・持病がある方、障害がある方に対して、日頃から周りの人達が協力して段取りをしておきましょう。

4 命を守るために…不安があれば、ためらわず避難所へ行きましょう。

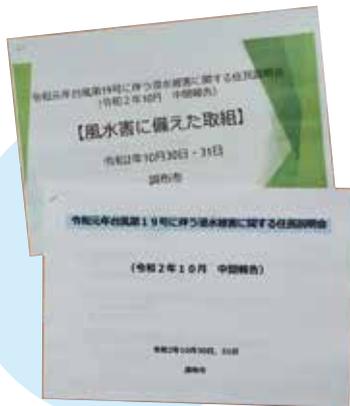
非常持ち出し品の他に、感染対策のためマスク・アルコール消毒液・体温計を持参しましょう。避難所では体調チェック、消毒の徹底、3密を避けて飛沫感染を防ぐ設営の工夫等が必要ですが、新型コロナウイルスの影響で地域での防災訓練や避難所開設訓練ができていない状況です。感染リスクを減らすために避難所でどのように行動するか、各自がイメージトレーニングしておくことが大切です。

地域ネット担当 加藤洋子

10/
30・31

令和元年台風19号に伴う 浸水被害に関する住民説明会 (調布市)

10月30日・31日
杉森小学校体育館にて、
令和元年台風19号浸水
被害に関する住民説明
会(中間報告)が行われ、
多くの住民が出席しま
した。



10/25

フォルスコート防災会 「防災ウォーキング」開催

10月25日 フォルスコート防災会では水害に備えた
「防災ウォーキング」を開催。



マンション周辺の危険
箇所、電柱の「想定浸水
深」表示、土地の高低差、
水路・水門の位置・名称
などを、マップで確認し
て歩きました。



11/13 「ペットの避難計画」話し合い



11月13日 多摩川住宅ハ棟集会室に
て、「ペットの避難計画」について、総
合防災安全課3名とすぎもり地区協議会
7名で話し合いました。

健全育成推進杉森地区委員会より

3月7日

6地区ソフトボール大会 開催予定

(杉森小、布田小、染地、二小、
国領小、調和小の6地区)



福祉や介護に関する相談等は…

「調布市地域包括支援センター ときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよ
う、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓
口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区
は、染地2、3丁目、国領町7、8丁目(8丁目1、4番地
を除く)です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご
自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内
しております。

どなた様もお気軽にご相談・ご連絡ください。

所在地：国領町7-32-2 デュスモン国領101
(クリエイト国領町店 東隣)

電話：050-5540-0860

開所：月～土9時～18時 夜間及び日曜は転送電話対応

生活の相談、仲間づくりの相談等は…

「調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター」へ

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の
相談、趣味やボランティアを通じた仲間づくりの相談の
窓口として活動しています。

- 染地地域福祉センター内 ボランティア室
TEL 481-3790 火～土 9時～17時
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子
- 調布市総合福祉センター内
TEL 481-7693 月～金 8時30分～17時30分
地域福祉コーディネーター 中村 竜
地域支え合い推進員 北島正也

